

平成20年度「専修学校を活用した再チャレンジ支援推進事業」成果報告書

事業名	理容師・美容師のトータル・ビューティーアーティスト育成プログラム		
法人名	学校法人 明日香学園		
学校名	明日香美容文化専門学校		
代表者	理事長 田中 由視	担当者 連絡先	渡邊 光治 TEL097-544-9113 FAX097-544-9113

1. 事業の概要

事業の目的・ねらい、内容

21世紀の理容師・美容師はトータル・ビューティーアーティストとして多彩な技術が求められます。かつて理容師・美容師の免許は取得したが、子育てや祖母・母、両親の介護等で長期間にわたり離職していたが、家庭的にもゆとりができたので、理・美容業界における最新の知識・技術を習得して再就職や夢であったサロン創設への挑戦をねらいとする。

長期間にわたって現場から離れていた人々が対象なので基礎的で重要な座学、実習を復習した後に、トータル・ビューティーアーティストとして必要な知識、技術を4-(4)-①理容師・美容師のトータル・ビューティーアーティスト育成カリキュラム・実施時間数、別紙1のようなカリキュラムで講習を実施しました。

2. 事業の評価に関する項目

①目的・重点事項の達成状況

本事業はこれからの理容師・美容師のあるべき姿としてトータル・ビューティーアーティストの育成をねらいとし、既に理容師・美容師の免許を取得している人達が、さまざまな理由から長期間にわたって現場から離れていて、最近の理・美容業界に関する知識・技術を習得して再就職やサロン創設への挑戦を目的として本事業を実施しました。

◎重点項目とその達成状況

【座学】

厚生労働大臣指定養成施設校としての指導要領による座学の必修科目は7科目であるが5科目に絞り、各科目とも基礎の重点項目のみ復習講義したのですが、卒業以来何年ぶりかで教科書を見て、とても懐かしく思ったが、中身については全く忘れていました。理容師・美容師についても免許更新制にした方がよいのではないかという意見のあった事は成果の達成状況大であった。

【カウンセリング】

受講生の年齢差が非常に大きく(4-(2)-②参照)、本事業の目的、ねらい、内容については、オリエンテーションで説明したが、やはり個別に面談して各人の希望、目的、実情を把握して、個人情報保護法内で各担当講師、企業実習担当者にアドバイスできた事で、年齢差によるトラブル等もなく、カリキュラム進行に功をなし、本事業の目的達成状況大であった。

【実技・実習】

■実施実技、実習科目 4－(4)－①別紙1参照

基礎実習、メイクアップ、エステティック、ワインディング、カット、ネイル、ブライダル、着付け、ロングヘアー

■達成状況

本事業のメインであるが、各科目とも最新の施設、設備で親切丁寧で行き届いた指導をいただき感謝しておりますと受講生全員からコメントをいただきました。

特にこの事業（講習）を通してトータル・ビューティーアーティストとして4つの最新情報（1.「エクステンション」、2.「3D ネイル」、3.「増毛技術の躍進」、4.「理容室、美容室で受けてみたいサービスストップ10」、事業の成果の項参照）を修得したこと、企業実習でのマナー、接客等、美容師としての実践実習を体験できたことは意義深く、成果は非常に大でありました。

②事業により得られた成果

女性の再チャレンジ支援プログラムとして4－(4)－②別紙2の通りトータル・ビューティーアーティスト育成カリキュラムを開発し、座学36時間、実技・実習78時間、企業実習36時間の合計150時間、28日間で実施し、それぞれカウンセリング、座学、実技・実習、企業実習とも達成状況の項でも記した通り成果は非常に大であった。しかも、受講生の就業状況の項（4－(5)）で記したように87.5%の受講者が目的を達成でき、講習終了後にはそれぞれの受講者が本事業に対する充実感と各自が知識と実技にも自信を得て修了することができたことも成果は上ったと思われる。

③今後の活用

③－1 カリキュラムについて

トータル・ビューティーアーティスト育成カリキュラムは本事業を遂行するにあたり新たに開発したカリキュラムで、昨年度に続き今年度で2回目実施となったが反省、再検討する点も多くあった。反省点と検討事項については次の通りです。

- ・カウンセリングは昨年の反省にたって（昨年7時間）今年度は4時間で実施し、個別面談を増やしたのが良かった。
- ・他の座学は適切な内容と時間配布であった。
- ・運営管理の内容については、今年度も接客法だけに絞り相モデルでの実習が大変好評であったので6時間に増やしたのがよかった。
- ・実習・実技については各講座とも昨年の6時間配分から今年度は実習の他は各講座とも4－(4)－①別紙1のように時間数を増やしたので十分な指導ができたのがよかった。
- ・企業実習については昨年の2企業14時間から今年度は3企業36時間と倍以上増やしたので受講生からも企業の指導者からも十分な指導ができたことと好評であった。

③-2 教材について

平成21年度においても本事業が引き続いて実施された場合、本校としては継続して計画書を提出して事業の実施をしたいので、保管のきく教材はよく手入れをして来年度教材として管理し使用します。

消耗品で保管のきかない教材については、本校の各科の実習授業に使用します。

④次年度以降における課題・展開

- ・平成19・20年度において最も困難をきたしたことは受講生の募集でした。募集期間をもう少し長くとれるとよい。少なくとも募集期間は2ヶ月は欲しい。
- ・受講対象者がしぼられたこと。募集用チラシの配布にも苦勞した。
- ・募集期間が短いため、本事業に対する事前のニーズ調査等ができず、受講生に対するアンケート調査にとどまったのが残念であった。
- ・昨年の募集状況から今年度は初めから募集案内チラシを印刷して県内のサロン、理髪店、卒業生などに配布、街頭での配布など努力した。
- ・子育て中の女性に対する配慮として、本学園直営の「あすか保育園」で無料保育することを広告、チラシに告知するべきであった。(該当者3名で子供4名。)

3. 事業の実施に関する項目

①受講生へのアンケート調査結果

回答率：16人(100%) ※複数回答有り

問1 本講習を受講するまで「専修学校を活用した再チャレンジ支援推進事業」を知っていましたか

1. 知っていた…1人(6.3%)
2. 聞いたことはあった…2人(12.5%)
3. 全く知らなかった…13人(81.3%)

問2 本講習の情報をどこから入手されましたか(○はいくつでも可)

1. サロン、理髪店…2人(12.5%)
2. パンフレット、チラシ…4人(25%)
3. 新聞広告…4人(25%)
4. 家族・友人の勧め
5. 明日香美容文化専門学校の先生…4人(25%)
6. ハローワーク…2人(12.5%)
7. ジョブカフェ、ヤングジョブスポット等若年者向け施設

問3 本講習に関心を持たれた理由は何ですか

1. 実践的な職業能力を身に付けられる…**8人(50%)**
2. 給料を得ながら勉強できる
3. 企業実習が受けられる
4. 再就職する際に有利になる…**4人(25%)**
5. 業界の最新技術を身に付けたいから…**4人(25%)**
6. その他…**2人(12.5%)**

問4 あなたの普段の状況をお答え下さい

1. 仕事をしている…**8人(50%)** ※正規の従業員2人、パート・アルバイト6人
2. 家事…**5人(37.5%)**
3. 現在仕事を探している…**1人(6.3%)**
4. サロン創業を準備している…**2人(6.3%)**
5. フリーターをしている

②カリキュラムの開発

2-②「事業により得られた成果」の項で述べたように、女性の再チャレンジ支援プログラムとして、本事業の趣旨を事業委員会に説明して、事業名を「理容師・美容師のトータル・ビューティーアーティスト育成プログラム」と決定して、委員会のそれぞれの委員が事業名にそったカリキュラムの素案を作成し、検討して、それぞれの担当講師に内容を確認して、実績報告書4-(4)-①別紙1のような「トータル・ビューティーアーティスト育成カリキュラム」を作成して、本事業を実施しました。カリキュラム作成にあたっては理・美容業界の最近の知識・技術を取り入れるのに講師の先生方も苦勞していたが、講師自身非常に勉強になり参考となったと感想を述べていた。

特に実習・実技を通してトータル・ビューティーアーティストとして、次の4つ、1.「エクステンション」、2.「3Dネイル」、3.「増毛技術の躍進」、4.「美容室・理容室で受けてみたいサービストップ10」の最新情報を修得したことは意義深かった。

③実証講座

本事業用に開発したカリキュラム内容を踏まえて以下のとおり実証講座を実施した。

目的：「専修学校を活用した再チャレンジ支援推進事業」の趣旨、そして、本校の「理容師・美容師のトータル・ビューティーアーティスト育成プログラム」事業の目的・ねらいにそって開発したカリキュラムで実施した、今回の講習の有効性や妥当性を確認する。

日時：平成20年12月15日(月) 10:00～14:00
平成20年12月24日(水) 10:00～15:00

場所：明日香美容文化専門学校 602教室

参加者：事業委員会(5名)

受講生全員	16名
担当講師全員	6名
企業実習担当者	3名
実習助手	4名

③-1 受講生の声

この講習全体評価

- ・大いに役立った…14人(87.5%)
- ・役立った…2人(12.5%)
- ・そこそこに役立った…0人
- ・ぜんぜん役に立たない…0人

③-2 自由発表による感想、意見

【プラス意見】

- ・実習、実技が多かったので意欲が出た。
- ・楽しく参加できた。
- ・座学、特に法規、衛生管理、保健については全く忘れていた事が多く勉強になった。理容師・美容師免許も更新制にした方がよいのではないか。
- ・業界の4つの最新情報はとても参考になった。
- ・最新の施設、設備で親切丁寧で行き届いたご指導でした。
- ・企業実習では初めとても緊張したが指導者の方が良く指導していただいたので、すぐになれて、サロンでのマナー、接客、お客様への実践実技を体験できたことは大へん意義深かった。しかし、帰宅してグッタリ疲れた。
- ・今回の講習は頭で理解するより、体感によって理解ができたことは年配者にとってはとてもよかった。
- ・ロングヘアーは大阪から特別講師薄先生を招請しただけあって大変好評であった。
- ・同じ目標を持った人と接することで、やる気になれた。
- ・実技実習については昨年度(36時間)の倍以上78時間、企業実習も昨年は14時間、今年度は36時間と多くとったので細かい所まで指導できたのがよかった。

【マイナス意見】

- ・運営管理の接客法については、相モデルで実習したため時間が少なすぎた。
- ・長期間(5カ月)に渡ったので、出席の調整に苦労した。もう少しつめて短期間になるとよい。
- ・学校の実習施設を使用するため、どうしても本校学生優先となるので長期間に渡るのはやむえない。

③-3 事業委員、講師による評価、所感

各講師に自分の担当した講義について、反省を含めて5段階で自己評価してもらった。

項目	講師										
	Ka	Hi	Si	Wa	Ha	Su	Sa	Ha	Ta	Mo	U
態度	4.2	4.0	4.2	5.0	3.3	3.7	4.2	3.5	3.2	3.0	4.3
自信	5	5	5	5	4	4	5	4	3	3	5
質問に対して	4	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4
板書	4	4	4	5	3	4	4	3	3	3	4
声量	5	4	4	5	3	3	4	3	3	3	4
話す速度	3	3	4	5	3	3	4	4	3	2	5
動作のクセ	4	3	3	5	3	4	4	3	3	3	4
内容	4.0	3.9	4.0	4.6	3.1	3.1	4.6	3.6	3.1	2.7	4.6
理解	5	5	5	5	4	4	5	4	4	3	5
印象	4	4	4	4	3	3	3	4	3	3	4
論理	4	4	4	5	3	3	5	3	3	3	4
強弱	4	3	4	5	3	3	4	4	3	3	4
文献引用	3	3	3	5	3	3	5	3	3	2	5
充実感	4	4	4	4	3	3	5	4	3	3	5
結論	4	4	4	4	3	3	5	3	3	2	5
表現	4.3	3.9	3.8	4.4	3.0	3.4	4.1	3.3	3.1	2.9	4.4
脱線	3	4	4	4	4	4	3	4	3	3	4
ユーモア	5	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4
共感・共鳴	4	4	3	5	3	4	4	3	3	3	4
断定	5	4	4	5	3	3	5	3	2	3	5
専門用語	5	5	5	5	4	4	5	4	3	4	5
顕示	4	3	4	4	3	4	4	3	3	3	4
わかりやすさ	4	4	4	5	3	3	4	4	3	2	5
具体性	5	5	5	5	4	4	5	3	4	3	5
参加	3	4	3	5	3	3	4	3	3	3	5
熱意	5	4	4	5	4	3	5	4	4	3	5
ジェスチャー	4	3	3	3	3	3	3	3	3	2	3
表現	4	4	4	4	3	3	4	3	3	3	4
その他	4.0	4.0	4.0	5.0	3.3	3.3	5.0	3.3	3.0	2.3	4.7
準備	5	5	5	5	4	4	5	4	3	3	5
時間	3	4	3	5	4	3	5	3	3	2	4
資料	4	3	4	5	3	3	5	3	3	2	5
教案の完成度	5	5	4	5	3	3	5	3	3	2	5

- ・各講師の反省については上記表の通り。
- ・時間的制約も手伝って、やや盛りだくさんの内容ゆえに押さえが甘くなった感がある。
- ・実習、実技に時間を割いたため、理論的解説が不足した感がある。
- ・来年度以降も本事業を実施するならば、募集期間はもちろん、講習期間も余裕を持ったスケジュールを組んでもらいたい。
- ・受講者の熱心さゆえに、予定以上の時間がかかった。
- ・職業情報についての資料、情報は十分であった。さらに事前にカウンセリングで面接指導をしていたのが功をなした。

④その他

【事業の特色】

- ・女性に限るという事は特色でもあり欠点でもあった。
- ・時代、社会情勢を反映してか理容師の応募が0人と云う事は非常に寂しかった。
- ・年齢制限をしなかった点。

【事業実施にあたり工夫した点】

- ・企業に本事業の趣旨を説明して企業実習に協力していただいた事。
- ・実習、実技については本校の正規の授業とは全く別のメニューを工夫して準備し、実施した点。
- ・特別講師を大阪より招請したこと。

4. 受講者の就業状況

- サロン創設予定・・・・・・・・ 2名（30歳代2名）
平成22年 4月創設
平成21年10月創設
- サロン就職希望・・・・・・・・ 9名（20歳代5名）（30歳代4名）
3名就職決定（20歳代1名）（30歳代2名）
- 理容店補助・・・・・・・・ 1名（20歳代）夫経営理容店の補助
- 美容、メイク、エステティック等のため 老人ホーム等へ訪問ボランティア
・・・・・・・・ 2名（30歳代1名）（40歳代1名）
- フリー2名（20歳代）

5. 文部科学省との連絡担当者

氏 名	渡邊 光治（わたなべ みつはる）		
所属・役職	明日香美容文化専門学校 学生指導部長		
郵便番号	870-0823	所在地	大分市東大道1丁目3番17号
電話番号	097-544-4666	FAX 番号	097-544-5002
E-Mail	info@asuka.ac.jp		